

災害の被害を減らすためにできること

日常生活の中に「防災」を

令和元年6月に山形県沖を震源とする最大震度6強の地震が発生し、負傷者や家屋破損などの被害が出ました。また、近年は全国各地で大規模地震が発生しています。

この地域では、広範囲で甚大な被害をもたらすと予想されている南海トラフ地震の発生が危惧されており、今後30年間の発生確率が70〜80%とされています。このように、大地震はいつ起きてもおかしくない状況であり、大地震が起きれば、津波による被害も想定されます。

災害に対して事前の備えがあれば、被害を大きく減らすことができます。自分や家族の身を守り、地域で助け合うために、できることは何かを考えてみましょう。

問 防災課防災計画係

☎(95)9874

災害の情報は どうやって知るのですか？

へきなん防災メール



市民の皆さんがどこでも迅速に防災情報を受け取れるよう、携帯電話やパソコンへ様々な防災情報をメールで配信するサービスを行っています。あらかじめ登録したメールアドレスにメールが届きます。メール機能を使って、個人でいつでも登録・解除できます。是非ご活用ください。※登録は無料ですが、メール受信にかかる通信料は利用者負担です。通信環境などにより、リンク先の外部サイトへのアクセスおよびメール受信に時間がかかる場合があります。

●日本語での配信情報

次の3種類から希望する情報を選択できます。

気象情報 気象警報など

防災情報 地震情報、津波情報、避難に関する情報など

火災情報 市内の火災情報

●外国語（英語、ポルトガル語、スペイン語）での配信情報

気象情報 気象情報など

防災情報 地震情報、津波情報

気象情報 気象情報など

防災情報 地震情報、津波情報

●登録方法

QRコードを読み取るか、各アドレスあてに空メール（件名、本文不要）を送信し、返信される仮登録完了メールから本登録してください。言語ごとに事前に登録する必要があります。

迷惑メール防止機能を使用している場合、登録する前に「hekinan-city@raiden.ktaiwork.jp」からのメールを受信できるように設定してください。



△スペイン語



△ポルトガル語



△英語



△日本語

各登録アドレス

日本語 ☒bousai.hekinan-city@raiden.ktaiwork.jp
 英語 ☒be-bousai.hekinan-city@raiden.ktaiwork.jp
 ポルトガル語 ☒bp-bousai.hekinan-city@raiden.ktaiwork.jp
 スペイン語 ☒bs-bousai.hekinan-city@raiden.ktaiwork.jp

緊急速報メール

災害発生時に避難勧告など、特に緊急性の高い情報を迅速に提供する

ため、緊急速報メール（NTTドコモのエリアメール、auおよびソフトバンクの緊急速報メール）を運用しています。

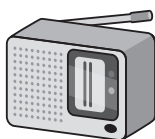
対応機種の携帯電話へ、市からの災害情報を緊急速報メールで市内に一斉配信します。情報配信時に通勤や通学などで市内を訪れている人も配信されます。

※配信できる情報は特定の緊急性が高い情報に限定しており、気象警報などは配信しません。また、機種により緊急速報メールを受信できない場合や、受信設定が必要となる場合があります。

Pitch FM

83.8 MHz

災害時に持ち運びができ、停電中でも使用できるラジオは、情報を得るための最も有効な手段です。



Pitch FMは碧海地域を中心に地元の情報をラジオ放送しており、災害時には、各市の災害対策本部と連携して災害情報が放送されます。地震や台風など災害時にはPitch FMをご利用ください。

また、ラジオを受信しにくい場合でも、インターネットを介してパソコンやタブレット端末、スマートフォンで放送を聞くことができます。

●無料スマートフォンアプリ「KATCH & Pitch地域情報」



KATCH災害情報サイトの情報を「見る」、Pitch FMのインターネットラジオ放送を「聴く」という2つの機能に加え、市や警察署が発信する地域の安全・安心情報もプッシュ通知でお届けします。

※QRコードの読み取りができない場合は、「KATCH 地域情報」で検索してください。



●ウェブブラウザ

Pitch FMホームページのインターネットラジオのタブからブラウザ版プレーヤー再生ボタンから聞くことができます。

Pitch FMホームページは、検索サイトで「Pitch FM」と検索すれば、見ることができます。

停電情報お知らせサービス (中部電力)

停電情報がスマートフォンのアプリで確認できるようになりました。また、電気に関するお困りごとについて、アプリ内のチャット機能で相談することもできます。

スマートフォンをお持ちでない場合は、パソコンで検索サイトから「中部電力 停電情報」と検索すれば、中部電力の停電情報ホームページから確認できます。



△Android



△iOS

市ホームページ

災害発生時には、市ホームページに「緊急情報」を掲載します。市ホームページは、パソコンだけでなくスマートフォンからも確認できます。

事前に家族や地域でできる対策はありますか？

避難所の再確認

災害時や大雨・暴風警報などが発令された場合、市では状況に応じて被災する恐れのある人たちのために避難所を開設します。災害の種類によっては浸水するために使用できなくなる避難所もありますので、ハザードマップなどを参照して自分の住んでいる地域や勤務先付近の避難所と避難経路を家族で話し合い、再確認しておきましょう。

家族・地域ぐるみでの防災対策

地震が起きたときの家族の役割分担や避難場所、連絡方法などを事前に話し合いましょう。

家族構成に応じた備蓄

大規模災害の発生直後は被災地に支援物資が届くまでに時間がかかる

ことを前提として、国は一週間分以上の備蓄を呼びかけています。食料は長期保存できる非常食だけでなく、食べ慣れているものがあると、より安心です。また、即席めん、缶詰、レトルト食品などを多めに購入しておき、順番に使いながら備えることで、賞味期限切れを防ぐ方法がおすすめです。

一時退避場所の変更

DCMカーマ碧南店（弥生町5-46）を一時退避場所として新たに指定しました。

※一時退避場所とは、災害時にまず命を守るために退避する場所です。

防災訓練への参加

地区にどのような資機材があるのか、避難所がどのような場所なのかを知ることができ、近所の人と防災について話し合いが出来る良い機会ですので、積極的に参加しましょう。

災害用伝言ダイヤル



災害用伝言ダイヤルは、災害発生時に電話が繋がりにくくなった際の、安否確認や居場所などを登録することができる伝言サービスです。登録者の電話番号を知っている人で

あれば、伝言内容を聞くことができます。

避難所一覧

避難所名	津波	洪水	高潮
1 新川小学校体育館	○	○	○
2 新川公民館	○	○	○
3 羽久手保育園	○	○	○
4 碧南工業高校体育館	○	×	×
5 中央小学校体育館	○	○	○
6 中央中学校体育館	○	○	○
7 保健センター	○	○	○
8 大浜公民館	○	○	○
9 大浜小学校体育館	○	×	×
10 南部市民プラザ	△	△	△
11 棚尾小学校体育館	○	○	○
12 棚尾公民館	△	△	△
13 前浜集落センター	△	△	△
14 川口農業センター	△	△	△
15 日進公民館	△	×	×
16 東部市民プラザ	○	△	△
17 東中学校体育館	○	○	○
18 鷺塚小学校体育館	○	○	○
19 鷺塚公民館	○	○	○
20 荒子保育園	○	×	×
21 西端小学校体育館	○	○	○
22 西端区事務所	○	×	×
23 農業者コミュニティセンター	○	×	×
24 勤労者体育センター	○	○	○
25 新川中学校体育館	○	○	○
26 新川保育園	○	×	×
27 文化会館	○	○	○
28 天道保育園	○	○	○
29 南中学校体育館	○	×	×
30 臨海体育館	○	△	△
31 棚尾ふれあい館	△	△	△
32 防災の家	○	×	×
33 西端下区民館	○	×	×
34 西端保育園	○	×	×
35 中部公民館	○	○	○

凡例 ○：使用可 △：上層階のみ使用可
×：浸水のため使用不可
※災害規模により開設しない避難所もあります。

伝言の再生方法

171 にダイヤル

音声ガイダンスが流れる。

再生の場合 2

音声ガイダンスが流れる。

被災地の人の電話番号を入力

伝言の録音方法

171 にダイヤル

音声ガイダンスが流れる。

録音の場合 1

音声ガイダンスが流れる。

被災地の人の電話番号を入力

非常持出袋の準備

非常持出袋はまとめて、すぐに持ち出せるようにしましょう。持出品は男性で15kg、女性では10kgまでが目安です。また、持出品の使用期限を定期的に確認しましょう。

災害発生直後、避難所には食料が充分にないため、避難所に行く際には、家庭で備蓄している食料を持参してください。ただし、災害発生直後に津波警報が発令されている場合は、備蓄品を持たずに、まず命を守るための避難行動を取ってください。家庭での備蓄品は、津波警報が解除された後、自宅へ取りに戻りましょう。

食料品	日用品
<input type="checkbox"/> 水 (1人1日3リットルが目安)	<input type="checkbox"/> 懐中電灯
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ、イヤホン
<input type="checkbox"/> 粉ミルク、哺乳ビン	<input type="checkbox"/> 予備電池
衣類	<input type="checkbox"/> 携帯電話、充電器
<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ
<input type="checkbox"/> 衣類	<input type="checkbox"/> ライター
<input type="checkbox"/> 下着	<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー
<input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> 携帯用トイレ
貴重品	<input type="checkbox"/> おむつ
<input type="checkbox"/> 現金・小銭など	<input type="checkbox"/> 生理用品
その他	<input type="checkbox"/> ビニール袋
<input type="checkbox"/> めがね、コンタクトレンズなど	<input type="checkbox"/> 旅行用携帯歯ブラシ
<input type="checkbox"/> 入れ歯など	

アレルギー対策は各自で

市の備蓄については、すべてのアレルギーには対応していません。アレルギーの人は、各自で必要なものを備蓄しておいてください。また避難所に行かれた後については、次のことに注意してください。

●食物アレルギー

非常食、炊き出しでは、食べられるもの、食べられないものがあります。周囲の人たちに周知・理解していただき、貴重な支援食であっても原因物質が含まれていれば食べられないよう注意してください。

●ぜんそく

ホコリやたばこ、たき火などの煙で発作になることがありますので、必ずマスクをつけましょう。

※アレルギー症状が出てしまっても、大災害後はすぐに適切な治療が行えるとは限りません。十分な注意と日頃の備えをお願いします。

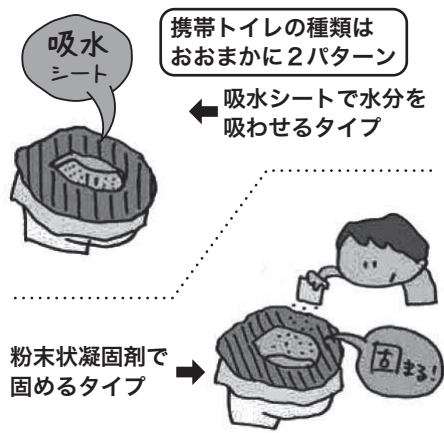
発災後のトイレについて

災害時に、水道が止まってしまったり、いつものようにトイレの水を流せませんし、下水道が破裂した場合には、水を流しても排せつ物が流れない場合もあります。

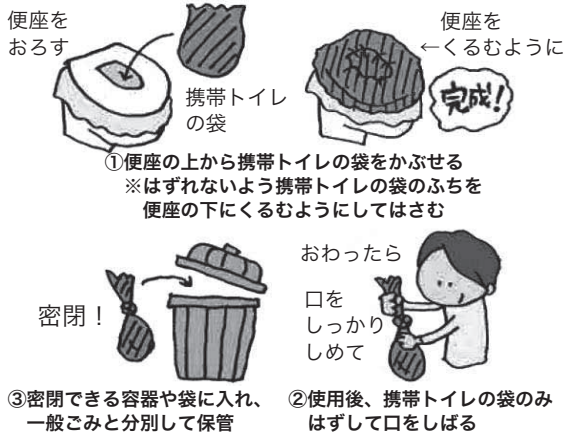
過去の震災では、集合住宅などで、地震で屋内配管が破損して、水が下の階に漏れてトラブルになった事例がありました。そのため、下水管の状況が確認できない段階では、携帯

トイレを使用する方が無難です。もし、トイレを気持ちよく使うことができないと、体調を崩したり、災害関連死につながる可能性があります。ご自身と家族を守るためにも、携帯トイレを備蓄しましょう。

●災害用トイレの例



●携帯トイレの使い方



身のまわりは安全ですか？

まわりのものが危険物に



地震が起きたとき、揺れだけをしなないことが第一です。建物の耐震化とともに、自宅や職場などの身の回りを確認しましょう。倒れたり動いたりしそうなものは、しっかりと固定しましょう。外出先では危険な場所や安全な場所をチェックする習慣をつけましょう。

「うごく」もの固定
耐震粘着マット/チェーンベルト

「たおれる」もの固定
L字金具など

「おちる」もの固定
チェーン

「われる」もの対策
飛散防止フィルム

「とぶ」もの固定
ラッチ/すべり止めマット